

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入所時に重度化や、終末期に向けた方針の説明と文章の配布が望まれる。	今後も、入所後の心身状態が異なる。医療体制は、日々話し合いを行いながら連携し情報交換を行い生活を支援する。	入所時は契約重要事項に沿って、重度化や終末期に向けた方針の説明を行う。グループホームから医療機関及び施設に連絡し情報交換を行う。	6カ月
2	35	地域との協力など進めているが、さらに備蓄の充実や消防署からの指導助言を受ける。	備蓄の日数期間を確認し実食する。備蓄品は、食事提供やおやつ等に工夫して加える。	備蓄の保管場所、物品の賞味期間、救急用具の一覧を掲示する。担当を決めて6か月ごとにモニタリングする。	6カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。  
 評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出して下さい。(提出必須)